

平成28年度第2回役員会会議報告

日時：平成29年2月17日（金） 13：30～17：00

場所：埼玉県文書館

出席者：20名

○役員（10名）

杉山会長・定兼副会長・佐藤副会長・石原理事・長谷川理事・辻岡理事・
星野理事・早川理事・小川参与・小松参与

○随員（3名）

鈴木一哉（群馬県）・柳沢芙美子（福井県）・前田能成（岡山県）

○事務局（4名）

新井浩文・金子雅則・森内優子・渡辺彩香

○オブザーバー（8名）

靄原美恵子（北海道）・吉田千絵（北海道）・辻川敦（尼崎市）・高野茂（茨城県）・
石井裕（茨城県）・白又康宏（富山県）・原田真由美（富山県）・田中健一（鳥取
県）

欠席者：井口理事・青木理事・小島監事（3名）

1 報告事項

（1）平成28年度第1回役員会会議報告

会長事務局から報告。すでに全史料協ウェブサイトに掲載済み。

（2）平成28年度総会概要報告

会長事務局から報告。

（質疑・意見）

- ・総会司会の大西愛氏の所属は無記入でよいか。
→大西氏は個人会員の代表なので、所属は記載していない。
- ・「ICA」の日本語訳が「国際公文書館会議」となっているが、全史料協が加盟した時に「国際文書館評議会」と定めた。
→今後は「国際文書館評議会」で統一する。
- ・尼崎市が大会・研修委員会事務局を引き受けた経緯を説明してほしい。
→尼崎市は市町村アーカイブズ機関として歴史があり、職員の質も高いので会長事務局から依頼をした。また、三重大会アンケートからもわかるとおり、会員からは地域史料を扱ってほしい旨の意見が多く、地域史料を収蔵している尼崎市なら多角的な視点から全史料協の大会運営を行うことが期待できる。

(3) 第42回全史料協全国（三重）大会実施報告

会長事務局から報告があった。1月31日現在で、機関会員137機関、個人会員296名となっている。新しく株式会社富士通が入会し、東大阪市人権文化部文化国際課市史史料室が3月末で退会予定である。国立水俣病総合研究センターが今年度の会費が未納であるため12月に督促を行ったところ、予算の都合上支払いが難しいため、退会する旨が通知された。個人会員の未納は51名である。

(質疑・意見)

- ・国立水俣病総合研究センターは、除籍はあり得るのか。
- ・これまでの刊行物を返送してもらうなどの手続きをしたほうがよいのでは。
→刊行物を返送してもらい、退会ということで手続きをしていく。
- ・個人会員の未納の会計処理はどうなっているのか。また今後の手続きについて。
→2年滞納で退会扱いになる可能性がある旨を記載した請求書を再度郵送する。

(4) 各事務局・委員会等報告

各事務局から活動状況を報告。特記事項は以下のとおり。

①会長事務局

第5回文化遺産防災ネットワーク推進会議について報告した。

②副会長事務局

主にICAソウル大会への参加について報告した。

③大会・研修委員会事務局

全国大会で集計したアンケート結果について報告した。

(質疑・意見)

- ・大会アンケートの公開は行うのか。
→公開の準備は進めている。来年度のアンケートでは公開許可について、記入していきたいと思う。
- ・現在、全史料協が発行している冊子類はB5サイズだが今後もB5サイズで発行するのか。
→今年度はB5サイズで発行し、来年度からA4サイズも検討する。

④調査・研究委員会

今年度は地震関係で、安否確認の連絡業務が多かった旨の報告がされた。

(意見)

- ・大規模災害対応は地震だけでなく、新潟県糸魚川市の大規模火災のような災害に

についても積極的に対応してほしい。

→その後、事務局で新潟県立文書館に連絡し、被害がないことを確認した。

⑤広報・広聴委員会

会誌『記録と史料』の投稿規程の改訂を行った。また、会誌をインターネットで閲覧できる「J-STAGEサービス」の利用申し込みを行った。

(5) 地域担当理事報告

①関東部会

主に定例研究会について報告が行われた。

②近畿部会

井口理事が欠席のため、会長事務局から報告が行われた。

(6) 平成28年度決算見込額について

会長事務局から説明が行われた。

2 協議

(1) 平成29年度事業計画及び予算案について

①平成29年度事業計画

各委員会事務局から説明が行われた。

②平成29年度予算案

会長事務局から説明が行われた。

(質疑・意見)

・特別会計・来年度も100万円を積み立てられるのか。

→今年度はICAソウル大会などで旅費がかかってしまったが、その分もあるので問題ないと思われる。

・今後、ICA総会等の行事に副会長事務局を派遣しない方針なのか

→以前の役員会で、派遣を行わないということを確認した。

(2) 第22期(平成29年度・30年度)役員体制について

会長事務局より報告された。

(3) 平成29年度(第43回)大会開催場所について

会長事務局より、神奈川県相模原市「杜のホールはしもと」で行うことが報告され

た。

3 その他

- ・大仙市公文書館が5月3日に開館予定。全史料協からは、定兼次期会長が開館セレモニーに出席予定。

- ・総会の時期について。

→平成30年度から6月開催にしたい。そのため、来年度総会で6月開催を提案していきたい。

- ・「日本におけるアーキビストの職務基準」について、どのような動きがあるか。

→3月16日、もしくは17日にアーカイブズ関係機関協議会で、改訂された職務基準が発表される予定。内容が不明なので、確認してから全史料協としてどのような動きをするのか決めたい。